

刊夕日一十月七

常警毎日新聞

定価 一部金貳拾五圓 全月金拾陸圓 郵税五圓
 廣告料 五圓以上 二日以下 一行金五圓 三日以上 一行金十圓 五日以上 一行金十五圓 十日以上 一行金二十圓 一月以上 一行金三十圓 三月以上 一行金五十圓 半年以上 一行金九十圓 一年以上 一行金一百五十圓
 印刷所 常警毎日新聞印刷株式会社
 社址 平町三丁目
 電話 六三〇

警備市制調査班

視察日誌(八)

昭和七年九月隣接町村合併に依つて下水道築造の必要なる地域が擴大したので第二期事業として昭和八、九年度経費事業として豫算二十九萬九千七百三十九圓を議決して内務大臣の認可を得たのである。以上の如く第一期事業費三百四十一萬五千七百七十二圓、第二期事業費二十九萬九千七百三十九圓、合計三百七十一萬九百一十一圓の豫算で事業は豫定の如く進行中である。汚水を放流す可川は北に豊川があり、南に柳生川があるが、豊川は豊橋市の水運の要路であり、また一面には將來糞尿處理問題も下水道を利用せねばならぬので市街地を避けて豊川の下流に完全な處分場を築造する事にした。處分場は豊川の水面より低いので電気で揚水放流する計畫である。

柳川は豊川の如く直接使用水される水路でなく單なる排水路であるから、將來その必要が起つた時處分場を築造することとして今の處分の計畫はない。(参考書類第十四號十五、十六、十七十八號参照)

6 隔離病舎

傳染病院の收容人員は四十二名である。専任醫師は一名で年俸は千八百圓、兼任醫師も一名で年手當は二百圓(校醫が兼任醫師になつてゐる。二百圓の年手當は校醫俸給の外である)専任看護婦は一名で月俸は四十九圓、臨時看護婦は日給二圓外に看護婦に特別手當として四十圓計上されてゐる。昭和十年年度の病舎費豫算は

- ★0000000000
- 明日の献立
- 0000000000
- 0000000000

【朝】味噌汁：しじみ

小付 はぜ佃煮

【書】ケチャップ御飯

福神漬

【晚】クローロー

酢の物 くらげ胡瓜

算は六千二百八十八圓である。昭和八年度の法定傳染病患者總數は三百六十六名で死亡は七十五名で死亡率は約二〇%であつた。

7 警備

豫算(昭、十、經)は一萬八千八百六十五圓で戸數二萬七千、人口十五萬に達し、然も廣漠たる面積を有する此の市として貧弱極まるものである。僅かに組頭以下十四名の常設消防がある外五組頭以下千二百五十七名の農村消防程度のものである。

る丈で、参考となるものがない。たゞ組員の火災現場に於て果敢な行爲は流石三河武士の血を受けて有名なものである。

8 その他

豊橋市の總面積は一〇、四五一ヘクタールで七里四方に當る、石城郡の半分以上の面積だらう。人口は十四萬七千で全國で二十二番だが面積の廣さは全國で第五番目である。昭和七年九月に隣接町村を併合したが(市制施行後)無條件合併であつた。合併に條件付は大禁物だと市當局は語つてゐた。下水道に對する國庫補助は九年度で打ち切られたのだが、文字通りの猛運動の結果十年度から復活する事になつたのだ。然し何時再び打ち切りとなるかはわからぬから平町で下水道の計畫があるならば、打ち切りとならぬ中に下水道工事の許可を得て補助指令の證文を握つて置かねばならぬと本田下水道築造事務所長が忠告して呉れた。

井坂醫院

平町 田町
電話五五九番

開店

御家庭御台所御手傳へ
一寸御出下されば簡易に御惣菜物
何でも安く揃へます……

◎どうぞ一度御用命下さい
◎精々勉強致します

萬漬物類
萬つくだに
食料品各種

二十三夜毎に御披露サービス券差上ります
平町三丁目魚清向へ

會社 寶來屋商店

増車御披露

陸の王者として定評ある流線型ダツチブラザース二輛増車致しました。タクシーの御使用の際は新車揃の尼子タクシーに御用命を御待致して居ります。

大型貸切専門車も御座います。

尼子タクシー
電話六四〇

父造酒之助儀去る五日突然發病療養不相叶昨九日午後六時二十分死去仕候間此段御通知申上候
追而葬送の儀は明後十二日午後二時自宅出棺良善寺於て佛式相替み申候

昭和十年 七月十日

男 田卷 榮一
男 松本 誠司
友人 酒井 喜平
總代 外親 木堅助
鈴木 木堅助

何となく
頭痛で不快の方

二三回で不思議に快癒する

フタバの磁氣

平町中仲町(電一九三番)

景品付大賣出

景品 九升詰壹樽御買上毎二優
良化粧石鹼三ヶ入壹箱

特賣期間 自六月五日
至七月卅日

井傳醬油

水戸市 井傳醬油醸造元

平町 田町
井傳醬油出張所
電話 四六番

水戸市 井傳醬油醸造元
特約店御希望ノ方ハ御報次第參上

定 價 (請 升 九)	最 上	フジ井印	三圓九十錢
	次	フク井印	三圓三十錢
	並	カク井印	一圓八十錢

念記設開所張出平

賣特油醬傳井 水戸

海邊へ

特別列車

来る廿八日から

平驛では来る十五日の波立薬師祭りと本月廿四日の第一丑の日の両日は例年平町附近の浴客が續々海邊に殺到するので兩日は下り二一七、二三四兩列車を平一久之濱間に延長運轉するが更に浴客輸送の爲め本月廿八日から八月二十日迄平久之濱間に臨時列車數本を特別

波立薬師

十五日祭禮

久之濱町字田之網の波立薬師は来る十五日の祭禮に各種の餘興があり四倉に海水浴を兼ねての参詣人も多く賑ひを呈するであらうと

二七醫者

注射をさされた

幼児が遂に死去

略式で五十圓の罰金

平町七軒町一保險外交員堤良治(四九)は元陸軍看護長で生理方面に多少の智識あるところから昭和八年十二月十九、廿日兩日二回に亘つて河沼郡千咲村に至り同村齊藤辰藏の孫吉三(三三)辰英(三六)を聴診器で診察し吉三の大腿部胸部に數本のカンフル注射を施した外數日間投薬遂に同人を死亡せしめ上行方を晦まして居たが今十二日醫師法違反で平區より略式罰金五十圓に處された

潜り馬喰

賣却金横領

赤井村字日渡農遠藤茂平(五〇)は本年一月中旬平町堤ノ内大塚武雄所有の牡馬一頭を赤井村の某に七十圓で賣り飛ばし代金は全部横領して遊興に費消した事發覺目下平署で取調中であるが同人は潜り馬喰で餘罪多數ある見込

軍用犬を

實驗する

平町三島モーター商會平出張所々々

長佐藤勝美氏の肝煎りて九月中旬頃第三小學校庭に於いて軍用犬の實驗を行ふべく目下準備中

錦村生れ

ルンペン

窃盜で捕る

錦村字中田生れルンペン根本未造(三三)は去る九日信夫郡飯坂温泉に於いて宮城縣柴田郡村田町大久保文治所有の鑛山道具一揃ひを窃取し昨日福島市内徘徊中を檢擧された

小便小僧を

殴り付け重傷

鹿島村字久保鈴木保(五五)は去る九日同村鈴木良造長男行平(一〇)が自家の井戸に小便をたれ流したと云ふ噂を聞いて憤激し同少年を引捕へ頭部を殴打し全治一ヶ月の重傷を負した事發覺昨日平署に檢擧された

石井小浪女史を

女教員會が招聘

新舞踊の夏期講習

本郡女教員會では兒童の情操教育普及に會員が舞踊を修得する爲め東京から石井小浪女史を招聘して來月廿六日より三日間午前八時より午後三時まで平第二小學校講堂に唱歌遊戯講習會を開催し同女史の實演指導によつて藝術味豊かな唱歌遊戯の稽古に精進すると、尙會費は壹圓當日受付で取扱ふ由因に小浪女史は舞踊界の異彩石井漢氏の令妹で斯界に其名が高い

明日のラジオ

二十日

- #### 今晚の部
- 後六、〇〇 子供の時間 名作物語「彌次郎兵衛喜多八」東海道藤栗毛二東京放送童話研究會
 - 後六、二五 農家の時間 「農村副業のはやりすた」農林技師見坊兼光
 - 後七、三〇 講演「戦争の變遷」文學博士 大類伸
 - 後八、〇〇 舞臺劇 大杯 鷗酒戰強者中村吉右衛門
- #### 明日の部
- 前六、三〇 實用文講座 服部嘉香
 - 前七、〇〇 朝の修養「勝鬘經」深浦正文
 - 前八、〇〇 家庭講座 「ワクチンと血清」醫學博士谷口映二

溺死二件

幼児と老婆

鹿島村字上矢田長瀬(六三)は九日午後二時自宅附近貯水池に轉落溺死、豊岡村字鹽屋町二八鈴木キチ(七〇)は八日夜七時頃水汲み井戸に墜落溺死したのを翌朝發見

大越中佐慰靈の

記念演奏と講演

十三日會今月の例會は聚樂館で十三日午後七時より大越中佐顯彰會、石城在郷將校會、平町青年團、平町國防婦人會、平町婦人會と聯合し大越中佐慰靈記念演奏と講演の會を催すがプログラム左の如くである

△講演「李官堡の激戦と廢車で練習中に 木炭倉庫へ突入」

廢車で練習中に

木炭倉庫へ突入

平町五丁目スピード自動車工場職工宮本英二(二〇)假名は昨日午後一時頃自動

- 後〇、〇五 新日本音樂 尺八獨奏 角野錦生 歌岡田隆
- 後一、〇〇 ラヂオ學藝會 (小學生の時間)
- 後二、〇〇 管絃樂 東京市川南小學校兒童
- 後三、〇〇 童話「頰を腫らした鯛」久留島武彦
- 後四、〇〇 童話と唱歌 「日の丸の旗」大阪市天王寺小學校兒童
- 後五、〇〇 唱歌「朝日は昇りぬ」札幌市豊水小學校兒童
- 後六、〇〇 對話「青葉城址に語る」宮城縣師範學校附屬小學校兒童
- 後七、〇〇 木琴「廣瀬中鹽釜から視察」宮城縣鹽釜町役場書記中村敬治
- 後八、〇〇 瀧美保治の三氏は本十一日平町役場を訪れ稅務其の他の事務を視察した

平職業紹介所報告

- ### 求人を求める方
- △鮮魚店員 四十迄 尋卒
 - △兒守 十五迄 委細面談
 - △配達人 二十前後 尋卒 月十圓
 - △店員 二十才 尋卒 回職を求める方
 - △女中 十九才 高卒
 - △店員 二十才 高卒
 - △洋品店員 十八才 高卒
 - △自轉車工 十七才 高一 修

看護婦急派

求めに應じ

平町南町 看護婦急派 求めに應じ ます

平看護婦會

電話三〇七番



明治太平記

(上段及上段)

(作) 寺島征史
(監) 野口

第七十二回

運命と戀 (十一)

『なるほど、さういふ手もあつたのか』
『あるもないも、それより外に手段がない。お前さん氣力が抜けて動けぬならわしが一人で床板を叩いてゐよう』

『いや、さういふ次第ならおれも叩くよ』
横になつた大志賀はそれに力を得て、ふたゝび起り直り握り拳を固めて床板をめぐら滅法に叩いた。
するうち、やがて入口の鐵の扉が、案の條ガチャンと鳴つた。

『はいきた、巡察かな』
茂平次は闇の中で思はず身がまへた。
『おれも捨身になつておられるぞ』

大志賀も氣力のおとろへを忘れて身がまへた。
ふたりの武器は四つの鐵拳……

『さア来い』
『エトロフの茂平次さまだ矢でも鐵砲でも来い。おそれるものか』
鐵の扉はギーイ……と不氣味に鳴り響いた。

かすかな明りが流れてきた。そしてそれと殆んど同時に半身を倉庫の中に覗かしたのは、巡察でも、ホテル館支配人でもなく、撫肩のすんなりした女性……しかた。



『大志賀さん』
優しくうるはしい聲で市之丞の名をよんだのはおとわではなかつた。
女は倉庫の中へ入ると鐵の扉をしめた。ふたりの所へ近よつてきた
『大志賀さん』
その聲はまさしく良順のおふくだ。
『おう、おのれは……』
市之丞はくらやみの中で低くほえた。
『はい良順でございます』
息のかゝるところまで良順は接近した。市之丞は思

も脂粉の香をたゞよはしたあでやかな女の姿……
『おや。』
『おう。』
ふたりは互に顔を見合つた。おとわが助けにきてくれたものと、とつさの間に信じられたからだ。
ふたりは我を忘れて扉の方へ駆よつた。と

はず二三歩後さりして『おのれは、おれを殺してきたのだな』
『いゝえ、あなたを殺すならこんな暗いところぢやなしに明るみで、萬座の中でもやれますわ』
『では、おとわを自分のものにしたらと……おれに告げにきたのか』

『いゝえ、あなたを助けにきたのだ』
『おれを? 黙れ、おのれがこのおれをこんなところへ押しこめておきなから、しらくしく助けにきたなぞ……』
『オホ、まだ怒つてゐるのねえ、でも大志賀さんきのふの敵は今日の味方になつたのよ』
『どうしてだ』
『おとわさんを争ふどころの騒ぎぢやないのよ、日本がイギリスにとられてしまふんですつて』
『戦争か』

この數日娑婆の風にあたらぬうちに日本國內に何か大騒動がもち上つたにちがひない。

空には星 地には銀線
タクシー界の最高標準を行く御待の形
1935年式
高級 ポンテアクレ号 今朝到着
何卒御試乗を御待申して居ます
平 騾 前
昭和タクシー
電話 340 343

池坊華道會員募集

一ヶ年卒業 花型構成ノ原則ヲ解放
初心者ヲ標準トシテ華道ニ關スル理論及技術ノ大要ヲ確實ニ習得セシム
科目 華道應用盛花、投入、生花、立華
教授場 性 源 寺 平町長橋町午前九時
ヨリ正午マデ
時 期 毎週金曜 平町田町午後一時ヨリ夜間部アリ
講師 池坊華道會長 先崎翠峰先生
申込其他 御用ノ際ハ電話五二六番
(平出張事務所) 御利用下さい
(味岡子之松氏方) 御利用下さい
◎尚御希望ニ應ジ出張教授モ致シマス

池坊華道會

主催 池坊華道會

磐城セメント會社特約店

磐城平町五丁目 電話九番九九

□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は(八)の生命なり

毎度有難うございます
レストラン
平厩館
電話 624

自轉車は左記

有名車を御撰擇下さい
世界的ニ進出セル

- ◎宮田ノ自轉車 夙ニ堅牢輕快ノ定評アル
- ◎ゼブラノ自轉車 實用經濟車トシテ好評アル
- ◎マーツ號自轉車

◎マーツ號の好評をねたみ羊頭狗肉の策を用ひ偽物を販賣なし商標を侵害なしつゝある者あり法的解決により御得意様御了解を得ん

宮田代理店 エビスヤ商店
ゼブラ代理店
マーツ代理店
電話 六六四

9.5 m.m
PONY
CINE-CAMERA ¥ 18.00
PROJECTOR ¥ 17.00
NISHIMURAY-YAKUHO
TAIRA-2. TEL 3

丹野齒科醫院
丹野 淳夫
平騾前 電話三八五番